

PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

続報 No.285

2020.02/13 (木曜) 16:00 発表

ハケ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

No.1778 続報 前兆変動終息もあるが継続もあり 4月以降の可能性が考えやすい

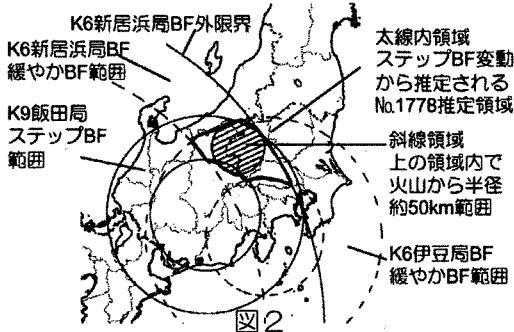
No.1778長期継続
前兆の続報です。

前号報告段階では早い場合の可能性として03月12日土発生が考えられました。但し、この場合、02月11日土に前兆終息が観測された場合に限ります。

最近になって前兆変動が終息した観測装置が複数あります、図1の右端に太字で示した観測装置の前兆変動は再出現も含め継続中です。昨

年11月から出現したCH34のBT変動は12月23日未明を中心に特異が出現しており、極大の可能性があります。この関係でまだ前兆変動が継続している可能性も完全否定は困難ですが、図1に記したような04月以降の可能性が考えやすい様です。12月23日極大認識に対する初現を、A1初現 10/22とするか、CH32櫛歯とA5特異の初現 10/15とするかで、04月16日土と04月30日土の2種の可能性が考えられます。但し、あくまでも暫定的な推定ですので、今後の前兆変動終息を確認しないと断定は困難です。02月23日土に現在継続中の前兆変動が終息した場合には03月12日or13日発生の可能性はまだ考えられますが、02月23日土に前兆変動終息が観測されなかった場合には03月以降に今後の観測状況を続報で報告させて頂きます。観測開始以来最長継続の前兆で最終段階の地震発生時期を推定することが難しくご迷惑をおかけ致します。地震発生時期が延びているのではなく、単に前兆変動の発生時期推定経験則に使用する関係認識が間違っている次第です。各推定された時期以前には発生しないということも重要であることをご理解下さい。

No.1778 続報 参考：ステップ状BF変動から推定される領域での現行推定領域の検証



◆推定領域：図3の太線領域内域
斜線域＝深間山または草津白根山近傍領域。可能性が考えやすい推定領域

◆推定規模：M 7.8 ± 0.5
◆推定時期：前兆終息後計算予定
最も早い場合の可能性 04月16日±3 or 04月30日±3

の可能性も否定できない。今後の観測で修正の予定

◆推定地震種：震源浅い陸域地殻 火山近傍
◆推定発生時刻：午前09時30分 ± 1時間30分 または午後05時 ± 3時間

本観測法では基線にうねり変動が現われるBF変動が典型的な地震前兆変動ですが、BF検知領域内の良好検知領域では曲線変動のBF変動が現われます。検知円ボーダー付近では曲線変動が伸びていき、ステップ状変動に変化します。No.1778前兆ではK9観測装置の前兆変動は全てステップ状BF変動でした。影響局は飯田局。K6にも伸びた形態のBF変動があり、これらだけで可能性が考えやすい推定域を作りますと図2の太線領域内となります。図3は現行のNo.1778の推定領域図です。No.1778には昨年08月08日を中心にハケ岳南麓に近い深間山または草津白根山の火山前兆も観測されていますので、両図に前述火山から半径約50km領域を斜線で示してあります。両図とも非常に近似しています。図3の斜線域内にNo.1778対応地震の震央がある可能性が考えやすいと思われます。